

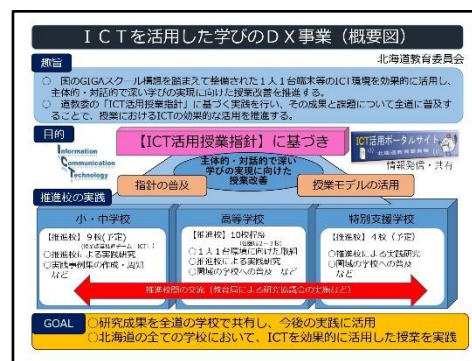
北海道教育委員会では、国のGIGAスクール構想を踏まえて整備された学習者用端末等のICT環境を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進するため、「ICTを活用した学びのDX事業」を実施しています。今号では、本事業の取組について紹介します。



DX: デジタル  
トランスフォー  
メーション

## ICTを活用した学びのDX事業

本事業では、小・中学校9校、高等学校10校、特別支援学校4校を推進校に指定しています。推進校では、ICTを活用した授業改善を実践し、効果的な事例や校内体制構築の取組、実践上の課題等を研究協議会などを通して共有し、その成果を全道の学校に発信します。



ICTを活用した学びのDX事業 (概要図)

## Short Sessionの開催

Short Sessionは、ICT活用サポートデスクで収集した情報を活用し、推進校における1人1台端末を活用した授業等の実践に関する情報共有や相談の機会として開催しました。推進校からは、「教員間でICT活用の共通理解が進む一方で、個々のスキルに応じた個別研修が重要である」との意見が聞かれました。



ICT教育推進課と教育局、学校等をWeb会議サービスでつなぎ、Short Sessionを開催

## 枝幸高等学校の取組

推進校である枝幸高等学校では、タブレット端末を活用し、これまでプリントなどを配付して伝えていたことをクラウドサービスを活用して伝えることで、業務の削減と効率化を図っています。教員間のICT活用の経験の差が縮まるよう、本事業における研究協議会での情報共有や校内研修を行うなどして、ICT活用を全校で進めています。



ICT機器等を活用した授業の様子

# 今号のコラム

## 渡島教育局の取組【ICTを活用した学びのDX事業】



「ICTを活用した学びのDX事業」の研修会に参加した先生が、次の研修会の講師として活躍するなど、研修の望ましい連鎖が起っています。令和3年6月のICT教育推進課による研究協議会を受けて、8月に渡島教育局が上磯高等学校（推進校）において「渡島・檜山管内研究協議会」を実施し、さらに、推進校以外の学校における校内研修会まで、その内容が共有されるなど、教育局と学校が協働したICT活用に関する情報の共有と成果の普及の輪が広がっています。

## 夕張高等学校の取組～授業研修会（数学）の実施～

推進校である夕張高等学校では、令和3年11月25日（木）に芦別高等学校とWeb会議サービスを活用した授業研修会を実施しました。本研修は、ICT機器及びクラウドサービスの活用についての授業研修を行い、今後のICT活用の更なる実践を促進することを目的として行われ、2年生の数学Ⅱの授業後の研究協議では、「ICTを活用したアウトプットの具体的な方法について」、「発表を客観的に捉え、疑問点や不足に関する質問方法や解法の提案方法について」など、具体的な授業実践について協議が行われました。



～研究授業の様子～

Web会議サービスで授業を配信し研究授業を実施。複数のタブレットを使用し、映像の切り替えや拡大をするなど、参加者の見やすさに配慮した工夫が行われていました。

### ICT教育推進課のページ



[まずはこちらへ！](#)

### ICT活用ポータルサイト



[最新情報が満載！](#)

### 「みんなで研修」プログラム



[短時間でICT活用を学べます！](#)

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

